

令和8年度 全国学力・学習状況調査 川島町の結果について

埼玉県教育委員会は、令和8年度に実施した全国学力・学習状況調査の結果を公表いたしました。公表された「教科に関する調査」の数値は、〔知識及び技能〕〔思考力・判断力・表現力等〕を測定した結果の一部です。同様に、「質問紙調査」の数値も〔学びに向かう力・人間性等〕を測定した結果の一部です。

本調査は、埼玉県教育委員会が公表している令和8年度全国学力・学習状況調査における本町の結果を解説したものです。

調査概要

- 調査実施日・・・令和8年4月23日（木）
- 調査対象・・・小学校第6学年及び中学校第3学年
- 調査事項・・・「教科に関する調査」
小学校は、国語、算数の学力を、中学校は国語、数学、英語（※）の学力を問います。
※中学校英語については、全面C B T（Computer Based Testing）で実施し、I R T（項目反応理論）に基づき、500を基準に算出したI R Tスコア結果を表示。I R Tスコアは、「聞くこと・読むこと・書くこと・話すこと」の4技能を統合したものです。
「質問紙調査」
調査対象の児童生徒に関し、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等について、その状況を把握します。
- 調査問題・・・学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題を出題したものです。

小 学 校

「教科に関する調査結果（表）と考察」

＜国語＞ 学習指導要領の内容である知識及び技能では、(1)言葉の特徴や使い方に関する事項については、県平均を「大きく下回り」（5ポイント以上）(2)情報の使い方に関する事項は、「やや下回る」（5ポイント未満）状況でした。

また、思考力、判断力、表現力等では、A話すこと・聞くこと、B書くことについては、県平均を「大きく下回り」（5ポイント以上）、C読むことは、県平均を「やや下回る」（5ポイント未満）状況でした。

＜算数＞ 学習指導要領の内容であるA数と計算 B図形 C測定、変化と関係 Dデータの活用の全ての事項について、県平均を「大きく下回る」（5ポイント以上）状況でした。

学力調査の概要 教科の正答率（％）

調査科目	川島町	埼玉県	全国
国語	56	63	60.9
算数	46	57	56.4

「質問紙調査結果」※質問事項は、71項目からの抜粋 「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合

	川島町	埼玉県	全国
1 自分にはよいところがあると思う	84.4	87.2	85.6
2 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。	90.7	93.4	91.4
3 将来の夢や目標を持っている。	78.0	83.4	81.8
4 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。	78.0	80.7	77.9
5 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている。	77.4	81.8	79.4
6 前年度までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。	65.2	71.8	66.4
7 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。	73.8	86.2	79.9
8 自分の学級では、学級生活をよりよくするために学級会（学級活動）で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。	80.2	86.8	81.5
9 国語の授業での学習は、将来、社会に出たときに役に立つと思う。	88.7	91.9	90.4
10 算数の授業での学習は、将来、社会に出たときに役に立つと思う。	85.1	92.2	91.0
11 将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就きたいと思う。	44.6	46.4	45.4

（単位％）

中 学 校

「教科に関する調査結果（表）と考察」

＜国語＞ 学習指導要領の内容である知識及び技能では、(1)言葉の特徴や使い方に関する事項と(2)情報の扱い方に関する事項について、県平均を「やや下る」(5ポイント未満)状況でした。

また、思考力、判断力、表現力等では、A話すこと・聞くこと、C読むこと については、県平均を「大きく上回り」(5ポイント以上) B書くこと については「やや上回る」(5ポイント未満)状況でした。

＜数学＞ 学習指導要領の内容であるA数と計算 B図形 については、県平均を「やや下回り」(5ポイント未満) C関数 Dデータの活用については、「やや上回る」(5ポイント未満)状況でした。

状態でした。

＜英語＞ 技能別平均正答数(問)については、聞くこと については、本町が1.3/2に対し県平均は1.2/2、読むこと・書くことについては本町が2.9/5に対し県平均は2.6/5という状況でした。

学力調査の概要 教科の正答率(%)

調査科目	川島町	埼玉県	全国
国語	68	66	63.9
数学	59	59	57.0
英語	534	507	499

「質問紙調査結果」※質問事項は、72項目からの抜粋 「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合

	川島町	埼玉県	全 国
1 自分にはよいところがあると思う	88.1	86.9	84.0
2 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。	95.4	94.4	90.9
3 将来の夢や目標を持っている。	77.0	70.1	67.6
4 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。	88.1	81.4	78.6
5 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている。	84.4	81.3	78.2
6 前年度までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。	77.0	72.6	65.5
7 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。	93.5	88.2	80.8
8 自分の学級では、学級生活をよりよくするために学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。	90.8	89.9	84.5
9 国語の授業での学習は、将来、社会に出たときに役に立つと思う。	95.4	89.6	88.2
10 数学の授業での学習は、将来、社会に出たときに役に立つと思う。	89.9	76.2	76.5
11 将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就きたいと思う。	29.4	35.0	34.1

(単位%)

考察と改善策

小学6年生では、○自分の考えを発表する機会において、資料や文章、話の組み立てなどを工夫することや、○自分で課題を立てて情報を集め、整理して発表することが苦手な児童の割合が高い。○学校で学習したことが、社会に出たときに役に立つと思う児童の割合が低い。という傾向にあることが質問紙調査から伺えます。

中学3年生では、○将来の夢や目標を持っている生徒の割合が高い。○自分と違う意見について考えることは楽しいと思ったり、分からないことについて自分で学び方を考えたり、工夫したりすることが出来る。○学校で学習したことが、社会に出たときに役に立つと思う児童の割合が高い。という傾向にあることが伺えます。

そのため各小・中学校では、ICTを活用した個別最適な学びを保障したり、自己効力感(自分ならこの課題をやり遂げられるという見込みや感覚)を育成したりしていきます。また、町内の統一した研究テーマ「主体的に物事を捉え、自ら学ぶ子の育成」一言語活動の充実をとおして一に沿った教育実践を行ってまいります。

ご家庭への協力依頼

お子様の学校での様子に関心をもってもらい、一日に一度は「今日、学校ではどんなことがあったの？」などという言葉がけをお願いいたします。また、家庭学習や生活習慣についてお子様と一緒に話し合い、家庭内のルールを決めるなど、子ども達と向き合う時間を大切にしてくださいようお願いいたします。

本町の教育の基本理念「共に学び 未来を創る」(川島町教育大綱より)の推進に向け、保護者・地域の皆様方の益々のご理解とご協力をお願い申し上げます。

川島町教育委員会